

2020年12月期 第2四半期決算説明補足資料



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード：3386)

2020.8.5

www.cosmobio.co.jp



1. 第2四半期業績

- 2020年度上期事業環境 . . . p.4
- 連結業績ハイライト . . . p.10
- 連結決算対象会社について . p.11
- 損益計算書 p.12
- 四半期別動向（売上高、経常利益） p.13
- 商品分類別連結売上高 . . . p.14
- 連結貸借対照表 p.15
- 連結キャッシュ・フロー計算書 p.16

2. 通期業績・配当予想ほか

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う業績見通し . . . p.18
- 通期業績見通し p.19
- 配当について p.20
- 3ヶ年計画 p.21
- 3ヶ年計画の進捗状況 . p.23

3. 参考情報

- 連結経営指標等推移 . . p.29
- 会社概要 p.30
- 事業概要 p.32
- SDGsへの取り組み例 . p.42
- 株価推移 p.43

1. 第2四半期業績

www.cosmobio.co.jp

当社を取巻く環境

コロナ禍

エンドユーザー
研究費動向



コスモ・バイオ株式会社

競合会社

為替環境

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、検査薬、ワクチン、治療薬の開発をはじめ、ライフサイエンス業界が果たすべき役割が注目されている。その中で当社においては、研究現場で使用する消耗品の売上動向を中心に変化が見られた。

- 第1四半期（1～3月）
 - コロナ禍において第1四半期には研究用の器材・消耗品などの購入需要が増加
 - 一部海外からの商品仕入れが停滞したが、影響は限定的

- 第2四半期（4～6月）
 - 消耗品等については、一部の商品について一時的に世界的品薄状態
 - 緊急事態宣言解除後はユーザーである大学や企業の研究所が活動を再開しはじめ、試薬の消費も再開されつつある

在宅勤務へのシフトも大きな問題等なく、緊急事態宣言下においても事業活動への影響は最小限で乗り越えることができました。

従業員向けの感染防止対策

- 2月28日以降、全社に対し在宅勤務を推奨
- 一部出社が必要な業務従事者に対しては、
 - ・ 出社可能人数を制限し、2メートル以上の距離を置く配置を提示
 - ・ 交通機関の混雑時間帯を避けるため、営業時間の短縮を実施
 - ・ 時差通勤の推奨
 - ・ 入室時の検温、アルコール消毒
 - ・ ドアノブ、複合機、ボタン等消毒（1日4回）の継続
- 感染拡大防止手当の支給

事業継続のための対策

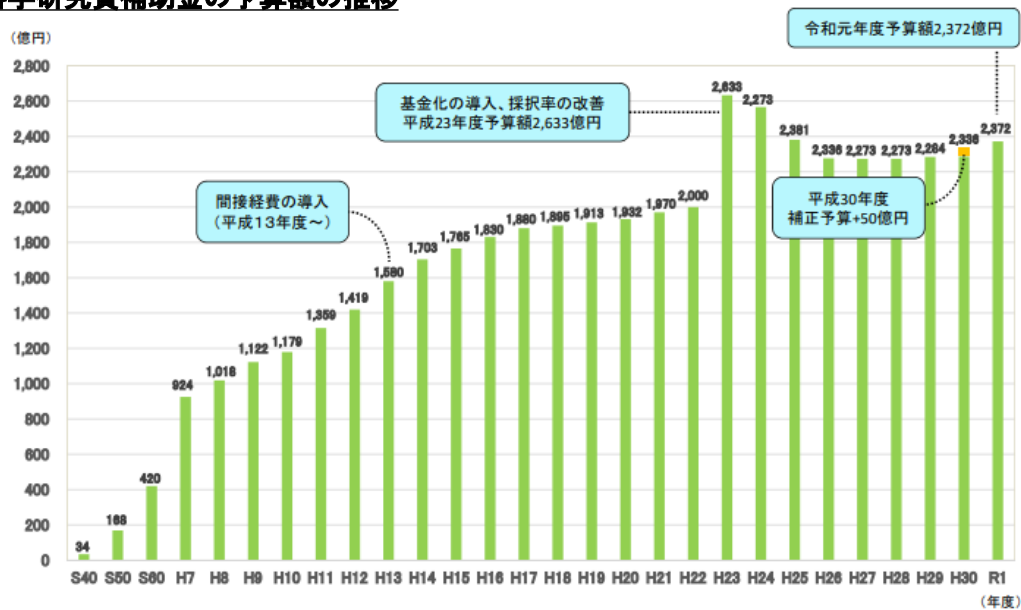
- 従来より、ノートPCやiPhoneの貸与、VPN接続によるリモートワーク等の環境を整備していたことが効を奏し、短期間で在宅勤務に移行ができた（一部出社が必要な業務を除く）
- オンライン商談のための環境整備（出張営業活動の自粛）

エンドユーザーの研究費動向

大学・公的研究機関研究費動向

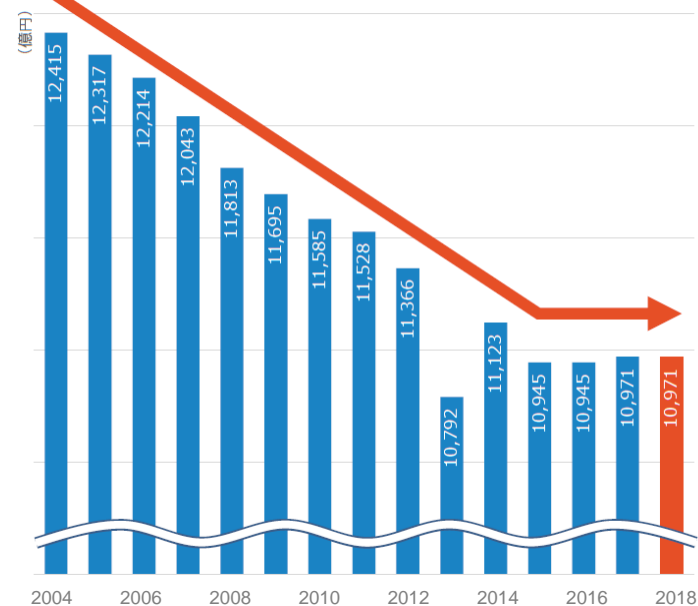
政府予算はほぼ横ばい傾向が続いており、各大学・公的研究機関の予算執行の鈍化傾向は継続。

科学研究費補助金の予算額の推移



文部科学省HPより一部改変

国立大学法人運営交付金予算額の推移



(注) 2017年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費 (45億円) を含む
(注) 2018年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費 (89億円) を含む

企業研究費動向

医薬品関連企業においては、基礎研究の拠点の統合等の影響があるものの、受託サービス等の需要が増加し、基礎研究分野への資金投資は微増から横ばい傾向が継続。

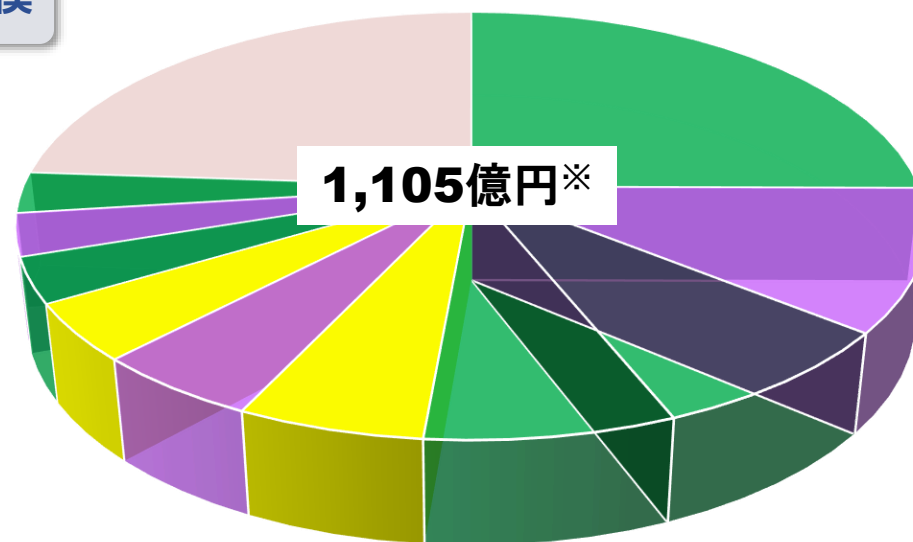
競合会社

市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための価格競争は継続。

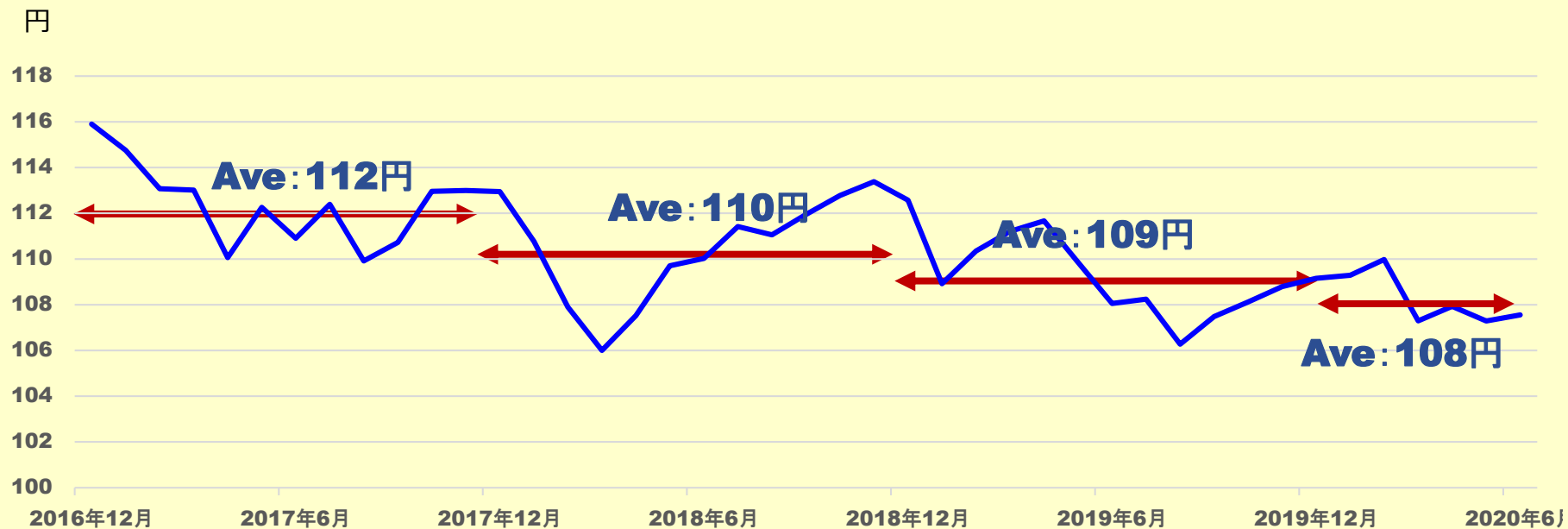
ライフサイエンス研究用試薬の市場規模

◆競合会社のパターン◆

- 1 海外企業の日本法人
- 2 日系大手メーカーの子会社・部門
- 3 商社

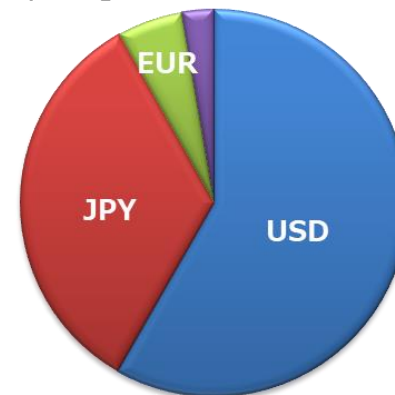


※矢野経済研究所2018



- ・ 為替変動により利益に影響
(円安では仕入原価・コスト高)
- ・ 為替予約により為替変動リスクを軽減

【2019年通貨別仕入】



平均為替レートの推移 (円/ドル)

2017年	2018年	2019年	2020年 上期
112円	110円	109円	108円

売上高

前年同期比：増収 **予想比：増収**

- 1Qにおいて実験室で使用するピペットチップや手袋等の消耗品の売上が増加。
- 研究用試薬、受託サービスについても好調に推移。

利益

前年同期比：増益 **予想比：増益**

- 売上増による利益増
- 販管費の未消化（営業活動自粛による）
- 為替レートが当初予想の110円に対し円高で推移
- 投資有価証券の売却による特別利益の計上

連結決算対象会社について

① ビーエム機器株式会社（2010年より連結）



事業内容：ライフサイエンス研究用の機器類、消耗品の輸入および国内販売

コスモ・バイオが研究用試薬を、ビーエム機器が研究用機器・器材・消耗品を扱うことで、試薬と機器両面からの研究サポートを実現

② COSMO BIO USA, INC.（2018年より連結）



事業内容：輸出商品の海外市場での販売全般

コスモ・バイオの輸出品、COSMO BIO USA 独自の仕入先商品の全世界向け（日本を除く）販売を行う

連結損益計算書

(金額単位:百万円)

	2019年 第2四半期 累計	2020年 第2四半期累計		前年同期比 増減	当初予想比 増減
		当初予想	実績		
売上高	3,794	3,900	3,946	4.0%	1.2%
売上総利益	1,461	-	1,529	4.6%	- 注1
販管費	1,220	-	1,098	△10.0%	-
営業利益	241	250	431	79.0%	72.6%
経常利益	269	290	482	78.9%	66.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	179	180	450	150.9%	150.3% 注2

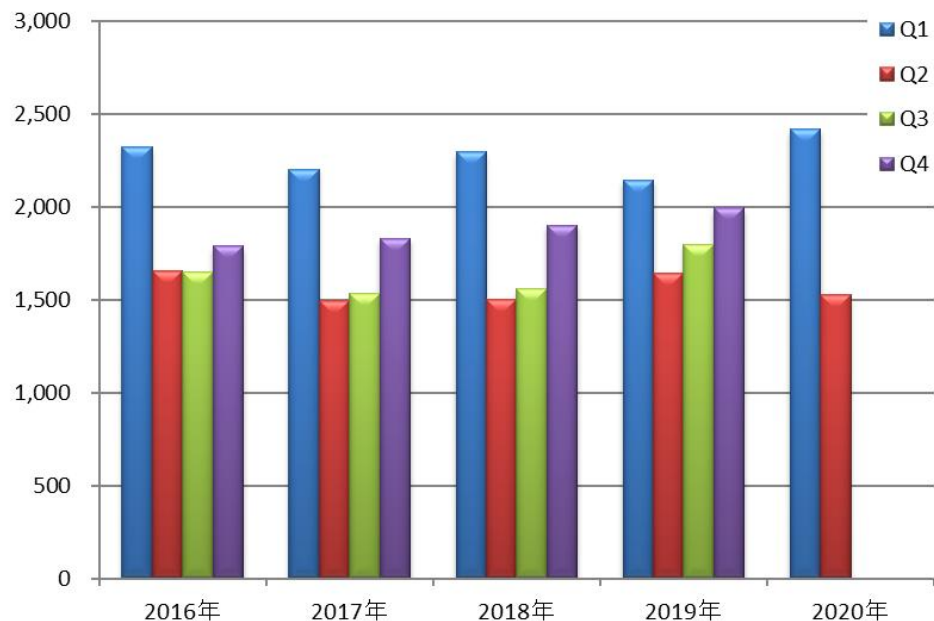
注1 売上増に伴う利益増の結果、粗利は38.5%から38.8%へと上昇。

注2 売上増、販管費の未消化、投資有価証券売却益等により、各利益は増益。

四半期別動向（売上高、経常利益）

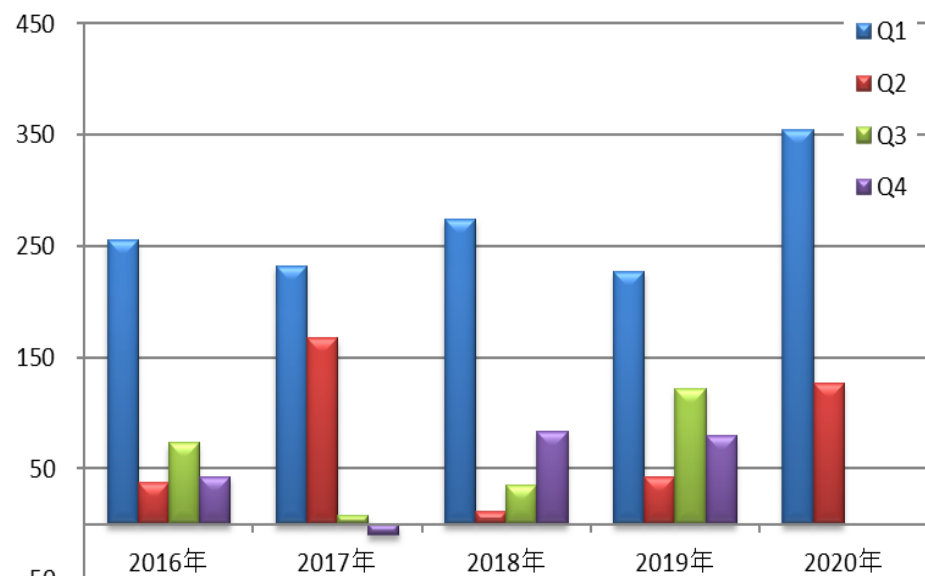
売上高

(百万円)



経常利益

(百万円)



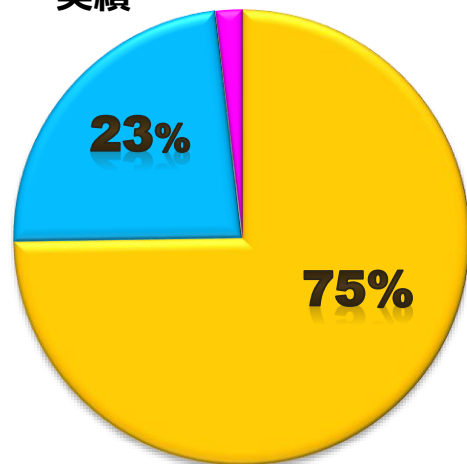
【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている

【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

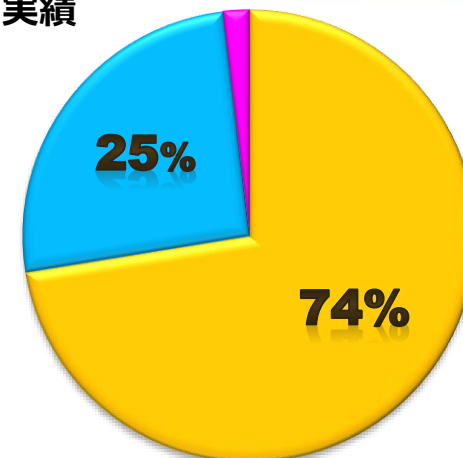
※2020年のコロナ禍においてはこの傾向となるかは不透明

商品分類別連結売上高

2019年第2四半期累計
実績



2020年第2四半期累計
実績



(金額単位：百万円)

連結	2019年第2四半期累計実績		2020年第2四半期累計実績		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	2,836	74.8%	2,908	73.7%	72	2.5%
機器	887	23.4%	979	24.8%	91	10.4%
臨床検査薬	70	1.9%	58	1.5%	△11	△16.8%
合計	3,794	100.0%	3,946	100.0%	152	4.0%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年12月末	2020年6月末	増減額
資産合計	8,890	9,304	414
流動資産計	5,927	6,300	373
固定資産計	2,962	3,003	40
負債純資産合計	8,890	9,304	414
負債計	1,568	1,569	1
純資産計	7,321	7,734	413
自己資本比率	77.0%	77.9%	

注

注 現金及び預金 + 755

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019年 第2四半期累計	2020年 第2四半期累計	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	361	735	373	注
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155	70	226	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△49	-	
現金及び現金同等物の増加額	154	755	601	
現金及び現金同等物四半期末残高	2,222	3,171	949	

注 増収増益により営業活動CF増加

2. 通期業績・配当予想ほか

www.cosmobio.co.jp

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 業績見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界的な規模で感染者が増加し、社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。コロナ禍における当社グループの業績見通しについては、次のとおりです。

- 新型コロナウイルス感染拡大の状況判断は難しく、国内の消費者である研究者が研究室に戻り、実験・研究が再開されれば、当社の需要は戻る。活動自粛が長引けば、消費の回復も遅れる。
- 海外事業をとりまとめている米国子会社（日本以外の全世界への研究用試薬等販売）は、アジア・ヨーロッパでは復調の兆しながら、主要な市場である米国内での消費回復が遅れている。連結決算に影響はない見通し。
- 全体として、下期は新型コロナウイルス感染拡大が改善する基調を背景に、当初想定範囲で進捗できるとの判断のもとに業績予想を作成。

連結業績見通し

※7月21日に業績予想の修正を行いました。

(単位：百万円)

	19/12月期 実績	20/12月期 当初予想	20/12月期 修正予想	対前年比		(参考)
				当初予想	修正予想	20/12期 上期実績
売上高	7,590	7,750	7,800	2.1%	2.8%	3,946
営業利益	405	430	590	6.0%	45.5%	431
経常利益	470	490	660	4.1%	40.2%	482
親会社株主に帰属 する当期純利益	237	310	540	30.3%	126.9%	450

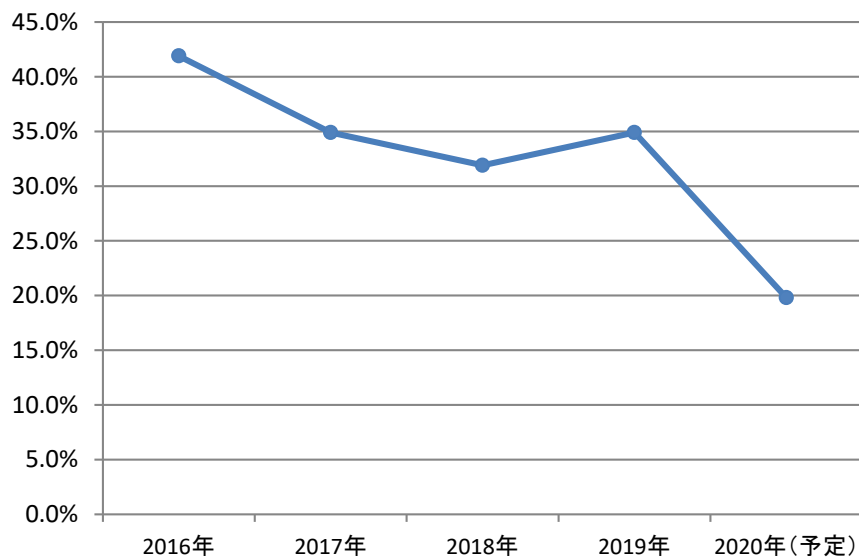
平均為替レート	19/12月期 実績	20/12月期 上期実績	20/12月期 下期予想
円/USドル	109円	108円	110円

配当について

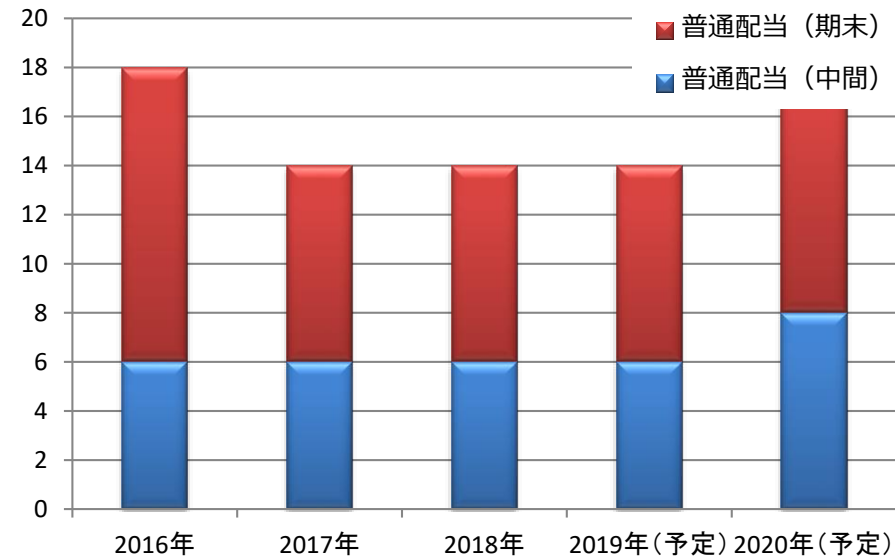
	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2019年 12月期	6円	8円	14円
2020年 12月期	8円	10円 (予定)	18円 (予定)

2020年度は、増益予想に伴い増配 (+ 4円) を予定しております

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



3ヶ年計画（2020年～2022年）

ビジョン

生命科学の研究者から信頼される
事業価値を高める

事業戦略

1

新たな事業基盤の創出

2

商社機能
の強化

2

製造機能
の強化

3

企業価値の向上

目指す姿・目標

～10年後を見据えた事業戦略

研究試薬卸売(現収益の柱)
に加え、第二(製造業? 第一
になり得る)の成長の柱を
つくる!

ライフサイエンスを
ベースに、研究試薬
以外の市場へも!

安定した持続的成長
を実現する企業に!

1

新たな事業基盤の創出

新規事業の開拓

シーズ探索強化、産学官連携への積極参画

資本提携・業務提携への取り組み

2

商社機能の強化 (提案力・情報力・商品力)

顧客情報管理とその活用

原料供給ビジネスの売上拡大

流通改革対策

2

製造機能の強化

新商品・受託サービスの拡充

抗体・ペプチド合成受託事業、鶏卵バイオリアクター事業の成長・収益加速

3

企業価値の向上

生産性の向上と効率化
(収益力の向上)

人事制度・人材育成

3ヶ年計画 – 進捗状況の一例① –

商社機能の強化 (提案力・情報力・商品力)

顧客情報管理とその活用

- 顧客管理システムを再検討
 - これまで各部署で使用していた顧客管理システムの情報を統合し、社内縦断的な顧客管理システムを採用
 - さらなる情報共有と効率的な営業活動を目指す
- 代理店に向けた商品情報・購買管理サイトを改修中
 - 商品納期情報等、既に一部の機能を拡張して公開しており、引き続き改修を続け、より良いサイトを目指す

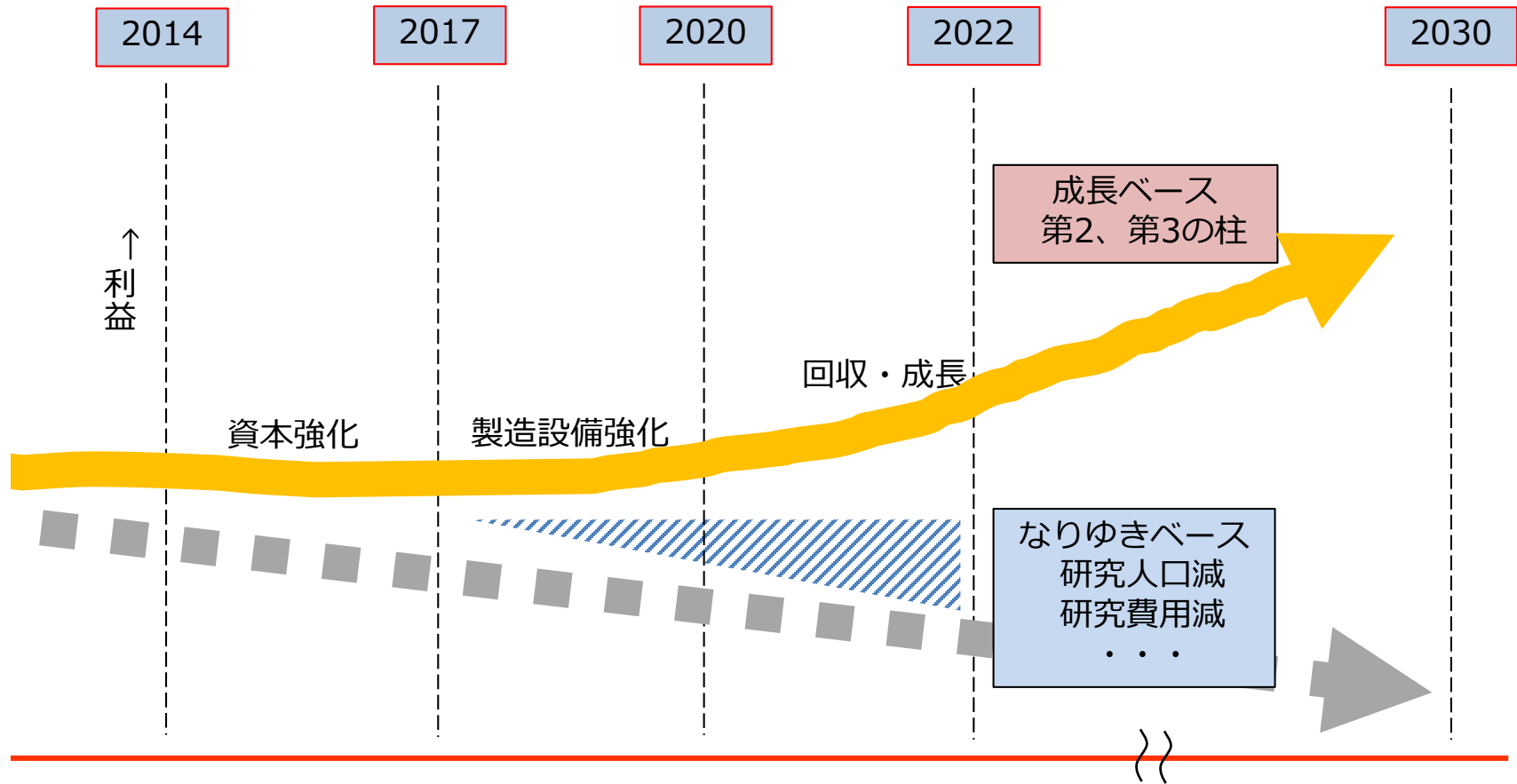
3ヶ年計画 – 進捗状況の一例② –

企業価値の向上

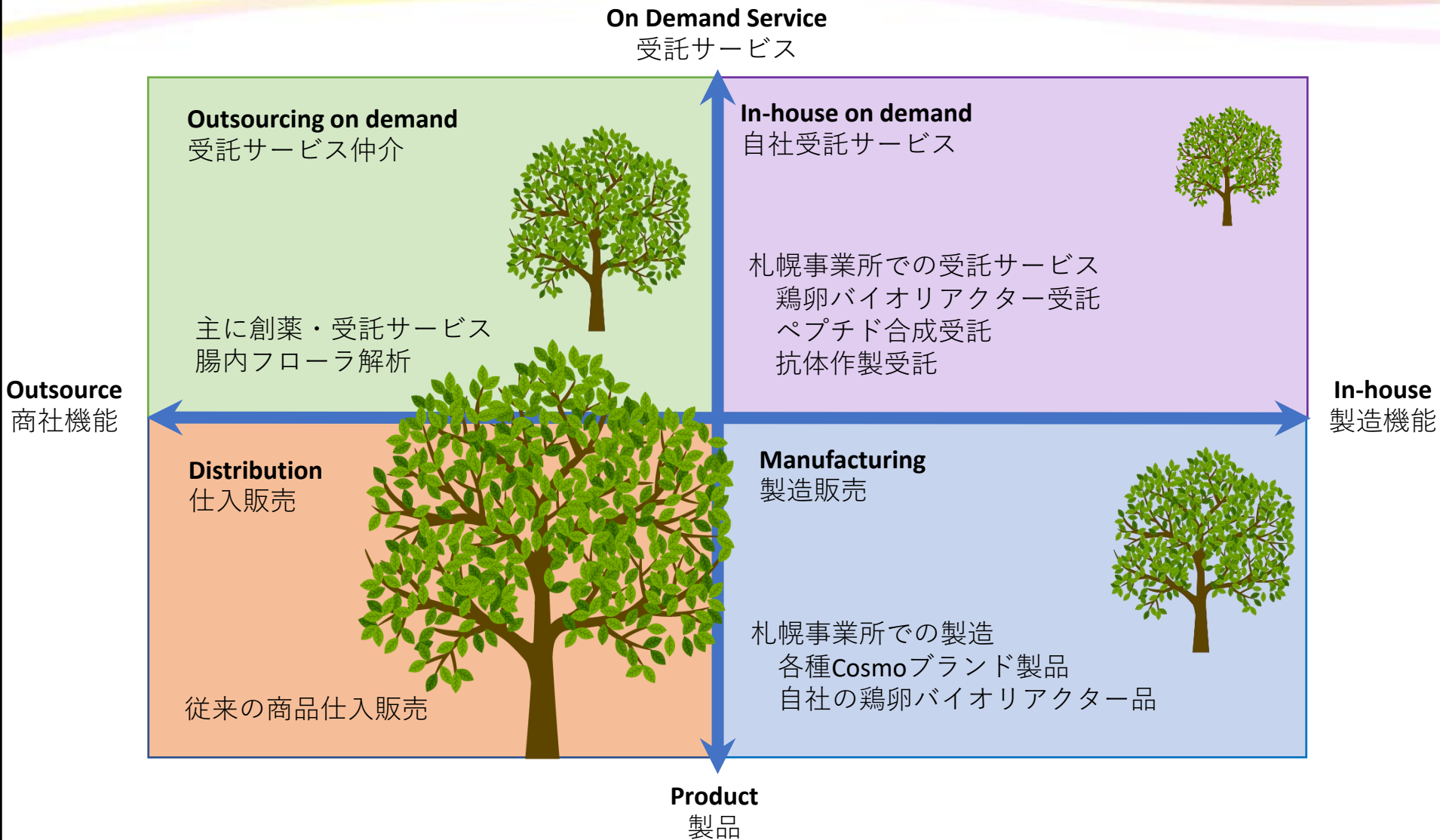
生産性の向上と効率化 (収益力の向上)

- 昨年のオフィスフロア移転に伴い取り組んだ「どこでも働ける環境の整備」が功を奏し、在宅ワークへの移行がスムーズに進んだとともに、残業も減り効果的な業務が行えている
 - モバイルPC、内線対応iPhoneの支給
 - VPN接続による社外での業務環境整備
 - ペーパーレス（削減）による業務効率化（ワークフロー活用など）

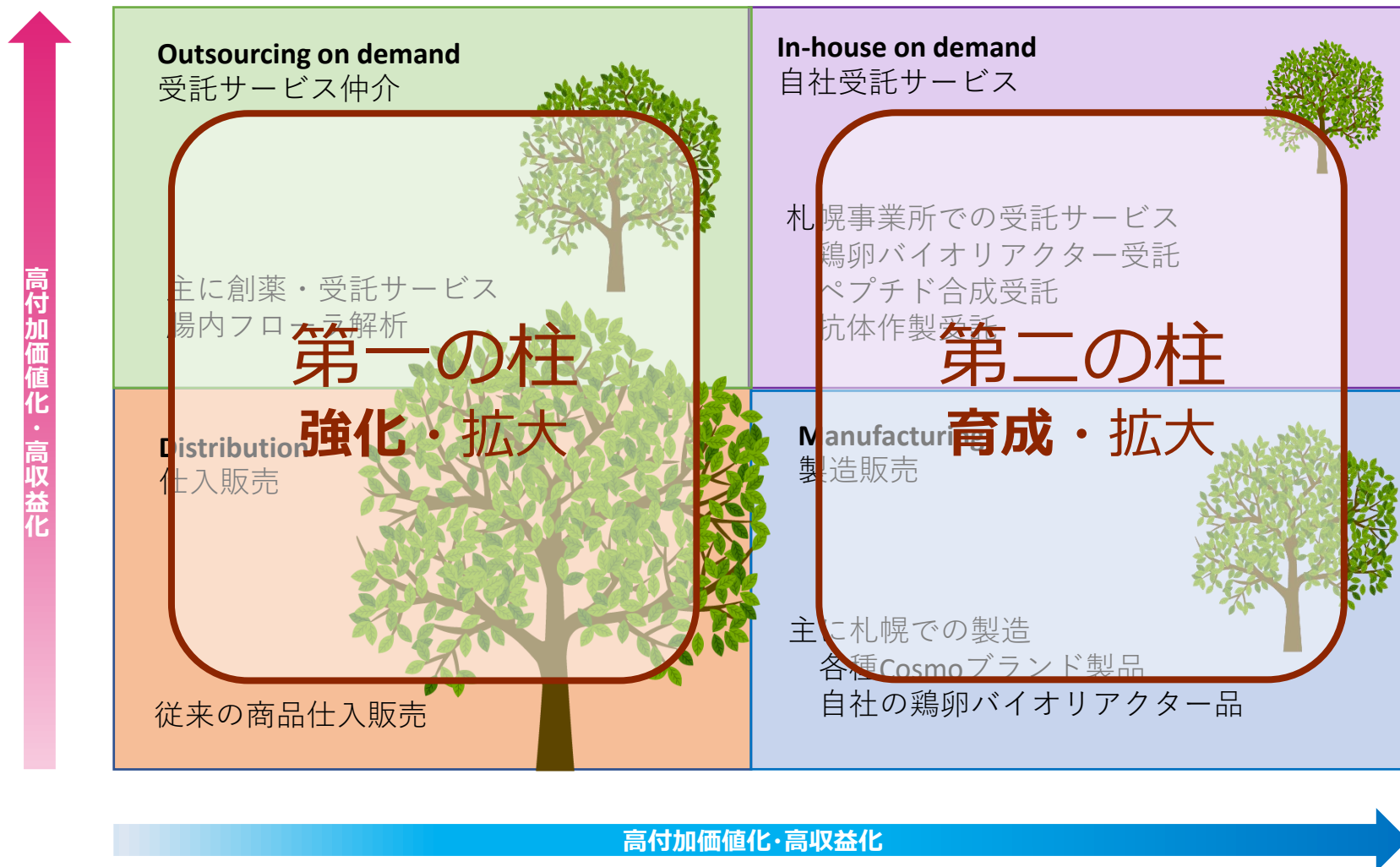
ロードマップ ~こんなふうになりたい~



コスモ・バイオの事業概況マトリックス



コスモ・バイオの事業成長マトリックス



3. 参考情報

www.cosmobio.co.jp

主な連結経営指標等の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高(百万円)	7,357	7,427	7,068	7,261	7,590
経常利益(百万円)	373	483	397	403	470
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	230	254	237	260	237
純資産額(百万円)	6,378	6,581	6,838	7,053	7,321
総資産額(百万円)	7,790	7,934	8,126	8,485	8,890
1株当たり純資産額(円)	1,003.87	1,034.90	1,076.35	1,110.06	1,154.32
1株当たり当期純利益(円)	38.89	42.93	40.15	43.93	40.14
自己資本利益率(%)	3.8	4.2	3.8	4.0	3.5
総資産経常利益率(%)	4.7	6.2	5.0	4.9	5.4
株価収益率(倍)*	27.6	29.2	27.9	20.0	26.1
配当金額(単体)(円)	16	18	14	14	14
配当性向(連結)(%)	41.1	41.9	34.9	31.9	34.9
純資産配当率(連結)(%)	1.6	1.8	1.3	1.3	1.2

* 株価は12月期の末日終値

会社概要

社名：	コスモ・バイオ株式会社
本社所在地：	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者：	代表取締役社長 櫻井 治久
設立：	1983年8月25日
資本金：	918百万円
事業内容：	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、 臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売
従業員数：	連結：136名 個別：106名（2020年6月30日時点）
連結子会社：	ビーエム機器株式会社 COSMO BIO USA, INC.
非連結子会社：	株式会社プロテインテック・ ジャパン



コスモ・バイオの沿革

1978年

丸善石油（現 コスモ石油）でバイオ事業を開始

1983年

丸善石油の子会社として「丸善石油バイオケミカル」を設立

1986年

社名を「コスモ・バイオ」に変更

2000年

MBOによりコスモ石油から独立

2004年

「COSMO BIO USA」を設立

2005年

ジャスダック市場に上場

2006年

「プライマリーセル」を子会社化

2010年

「ビーエム機器」を子会社化

2013年

物流センターを移転・拡張

「プライマリーセル」を吸収合併（現 札幌事業部）

2016年

「プロテインテック・ジャパン」を設立

ペプチド受託製造

鶏卵BR研究

2017年

札幌事業所を開設

事業の内容① – 商社 –

研究者と仕入先を結ぶ
コスモ・バイオ

コスモ・バイオ

仕入先

約600社

代理店

研究者

大学・公的研究機関・
企業・病院など

取扱い数
約1,600万品目



取り扱い商品：研究用試薬・機器、受託サービス

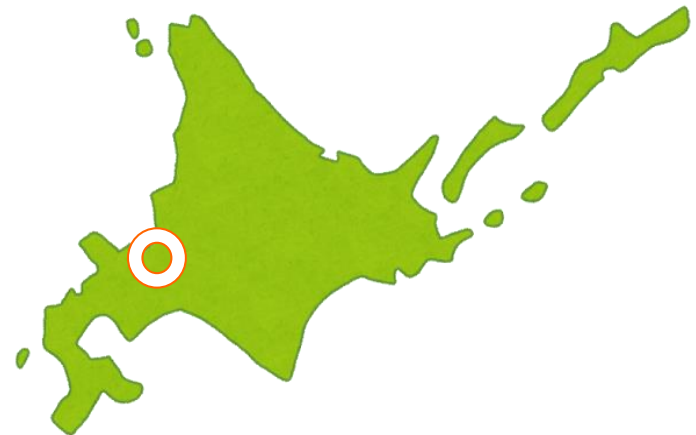
事業の内容② – 製造・開発 –

- ✓ 商社事業を軸に、2006年から**製造・開発機能**を取り入れ自社製品・サービスの開発に着手
- ✓ 開発・製造拠点は北海道（札幌事業所）
- ✓ 製造・開発事業は、大きく3つ
 - ①初代細胞ほか試薬製造・受託試験（2006年より）
 - ②ペプチド合成受託と抗体作製受託
 - ③ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造（鶏卵バイオリクター事業）

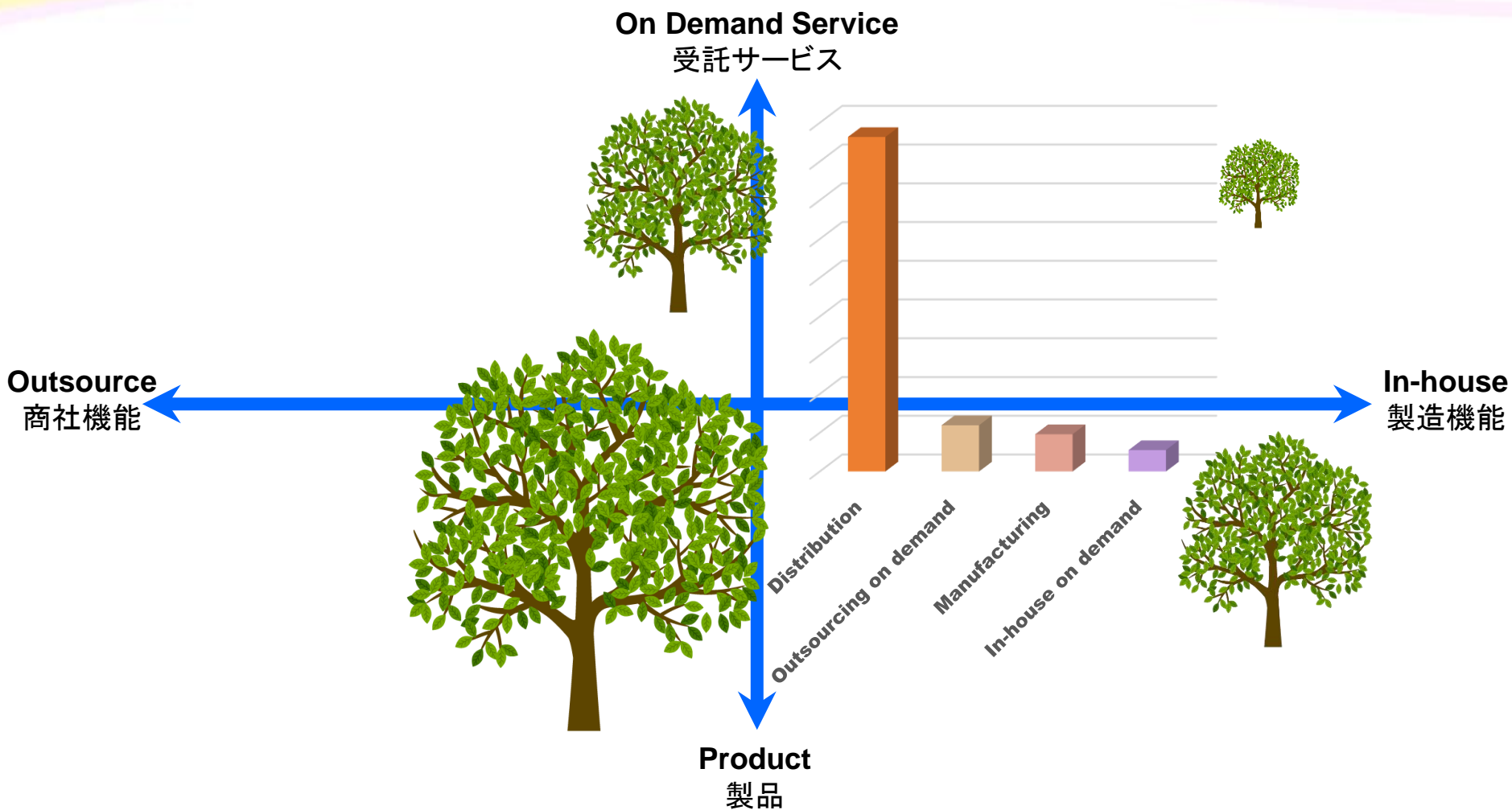
新規事業
2016年より



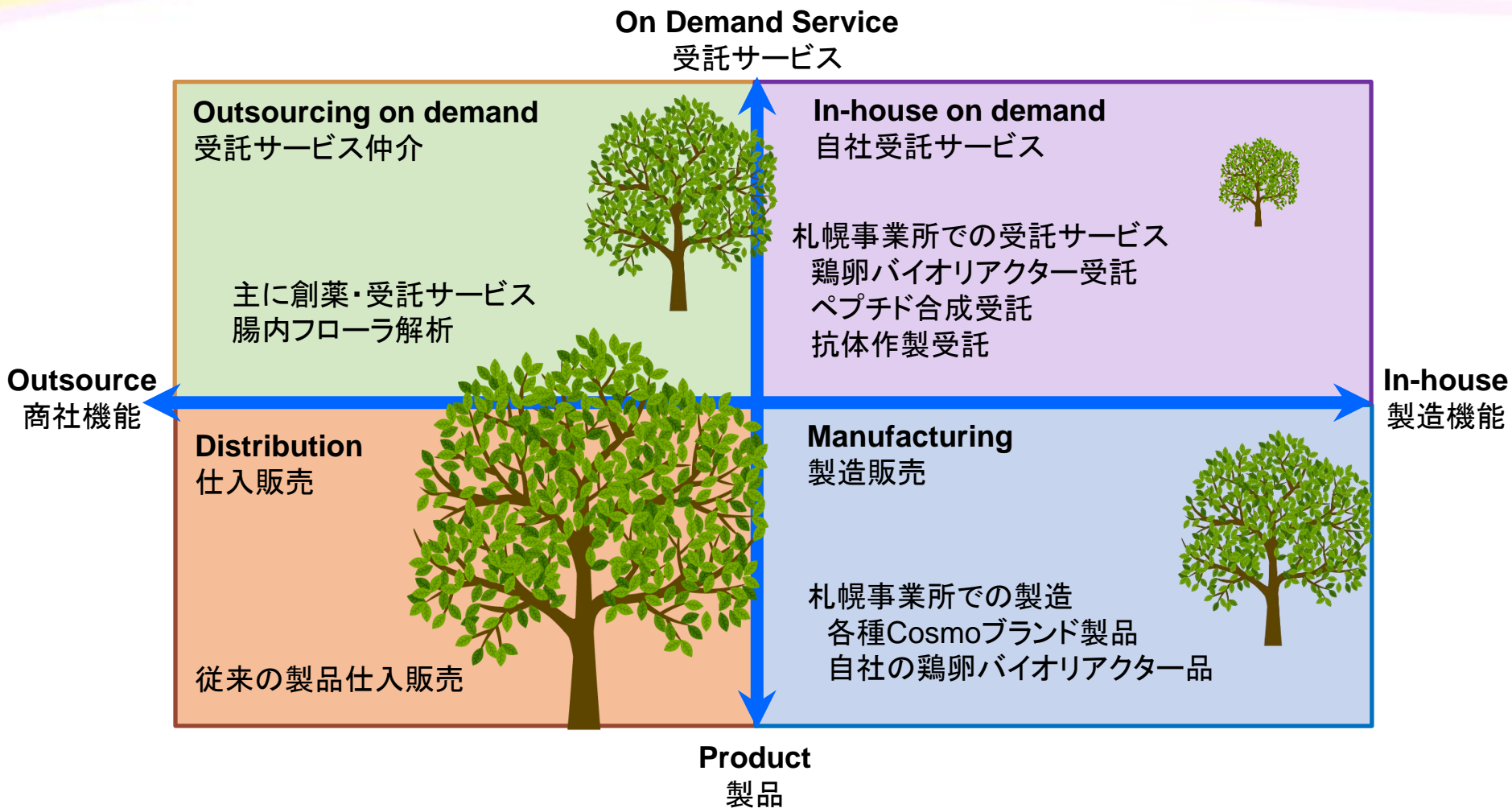
札幌事業所の外観



コスモ・バイオの事業概況マトリックス



コスモ・バイオの事業概況マトリックス



－ 試薬とは －

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質以外にも、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）やそれを反応させるための溶液など、多種類の試薬があります。

なかでも・・・**ライフサイエンス用（生化学用）**は、

- ・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
- ・数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
（体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる）



逆にいうと、体の中のこんなに少ない量の成分が何かしらのはたらきをしているということ。

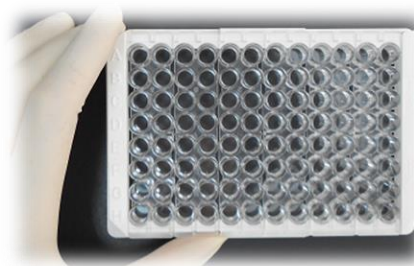
《試薬の分類イメージ》



－機器・器材・消耗品とは－

実験・研究・測定で使われる

- ・ 測定機器
- ・ 反应用機器
- ・ 手袋
- ・ ピペット
- ・ プレート
- ・ チップ
- ・ . . .



マイクロウェルプレート



チューブ

BIORUPTOR® II



電気泳動装置



超音波破碎装置



取扱商品の一例

試薬



培地、緩衝液など

試薬



キット(試薬セット)

機器



小型実験機器

試薬

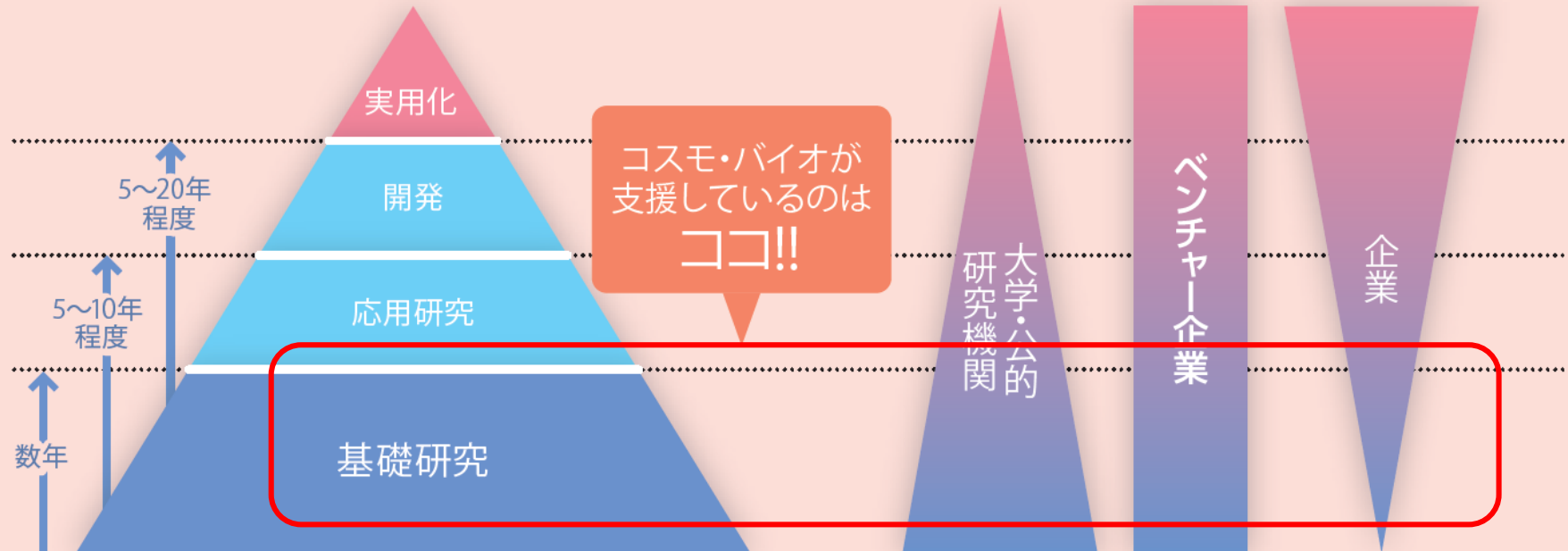


抗体・生理活性物質など

ライフサイエンス研究とユーザー層 -1

➤ 研究ステップ

➤ 各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでには
とても長い年月がかかっています。
コスモ・バイオはその研究の第一歩である、「基礎研究」を行う
研究者向けに、研究用試薬・機器を販売しています。

ライフサイエンス研究とユーザー層 -2

大学

公的研究機関

企業

•国から提供される

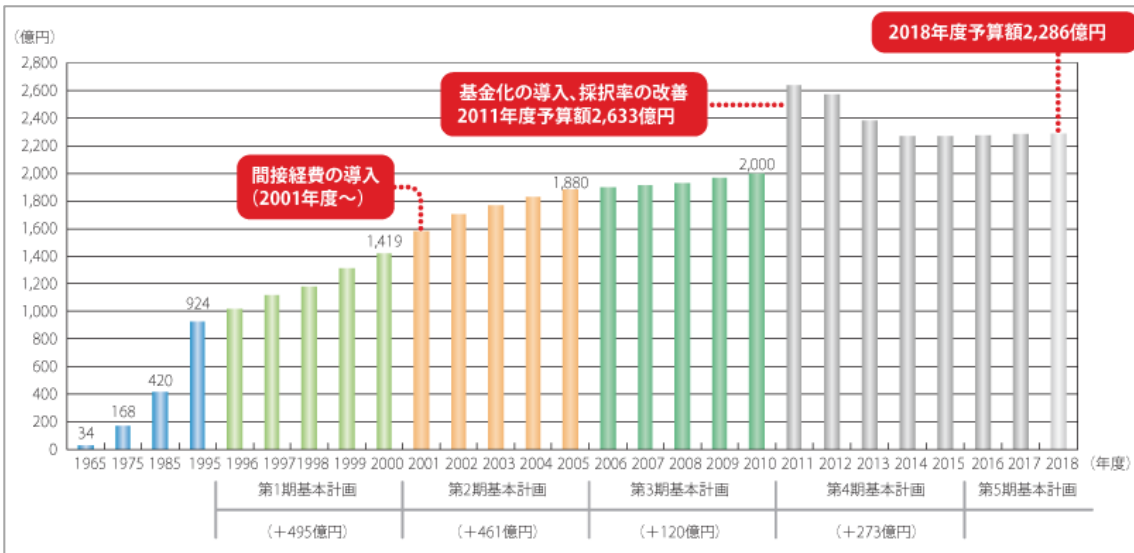
- 運営交付金
- 競争的資金(例:文部科学省の科研費)などの資金をもとに研究活動を行う。

理化学研究所(文科省)
産業技術総合研究所(経産省)
医薬基盤・健康・栄養研究所(厚労省)
...

製薬会社、食品会社、
化粧品会社、
ベンチャー企業、...

•各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、**基礎研究**にどのくらい「投資」するかの予算が生まれ、その資金をもとに研究活動を行う。

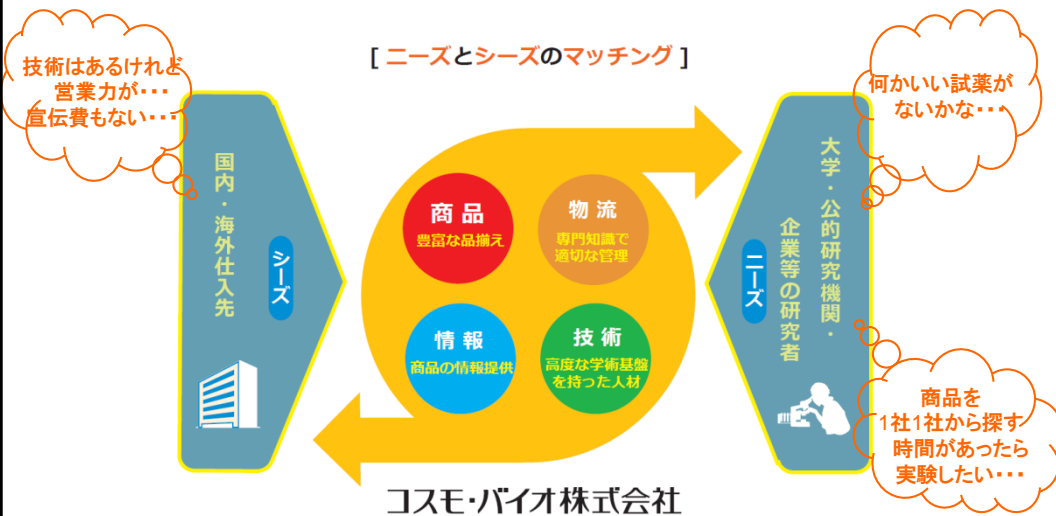
基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)



コスモ・バイオの役割

●膨大な商品と多彩なユーザーニーズの「マッチング」

世界のメーカーから仕入れる膨大な商品ラインアップ（＝シーズ）の中から、研究者にとって有用な商品（＝ニーズ）を選び出し、タイムリーにお届けする。商品とユーザーの「マッチング」こそが、最も重要な私たちの役割であり真髄。これを実現させ、商品購入前のお問い合わせから購入後のフォローまで、迅速かつ丁寧に対応。



●適切な温度管理

試薬の多くは、タンパク質や核酸・細胞など、生物由来の物質、いわゆるナマモノであり、仕入から保管、お届けまで厳重な温度管理が必要。各種温度帯を備えた倉庫、入出荷ノウハウにより、適切な温度管理で商品をお届け。



●関係法令・規制

◆動物検疫

商品が動物由来、もしくは動物由来の成分を含む場合、輸入・輸出の際には動物検疫対象となる。専門知識により、迅速に対応。

◆使用・保管への注意

商品には、毒劇物・薬物・危険物・遺伝子組換え物質等の、法律で取扱いが厳しく定められているもの、有機溶媒など廃棄規制があるものがあり、商品取扱いに関する情報も適切に提供。

SDGsへの取り組み例

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一行きたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

『ボランティア活動』

災害復興を目的としたボランティア活動を希望する従業員の支援を行っています。



『iGEM生物ロボットコンテスト 参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加された
チームの一例】



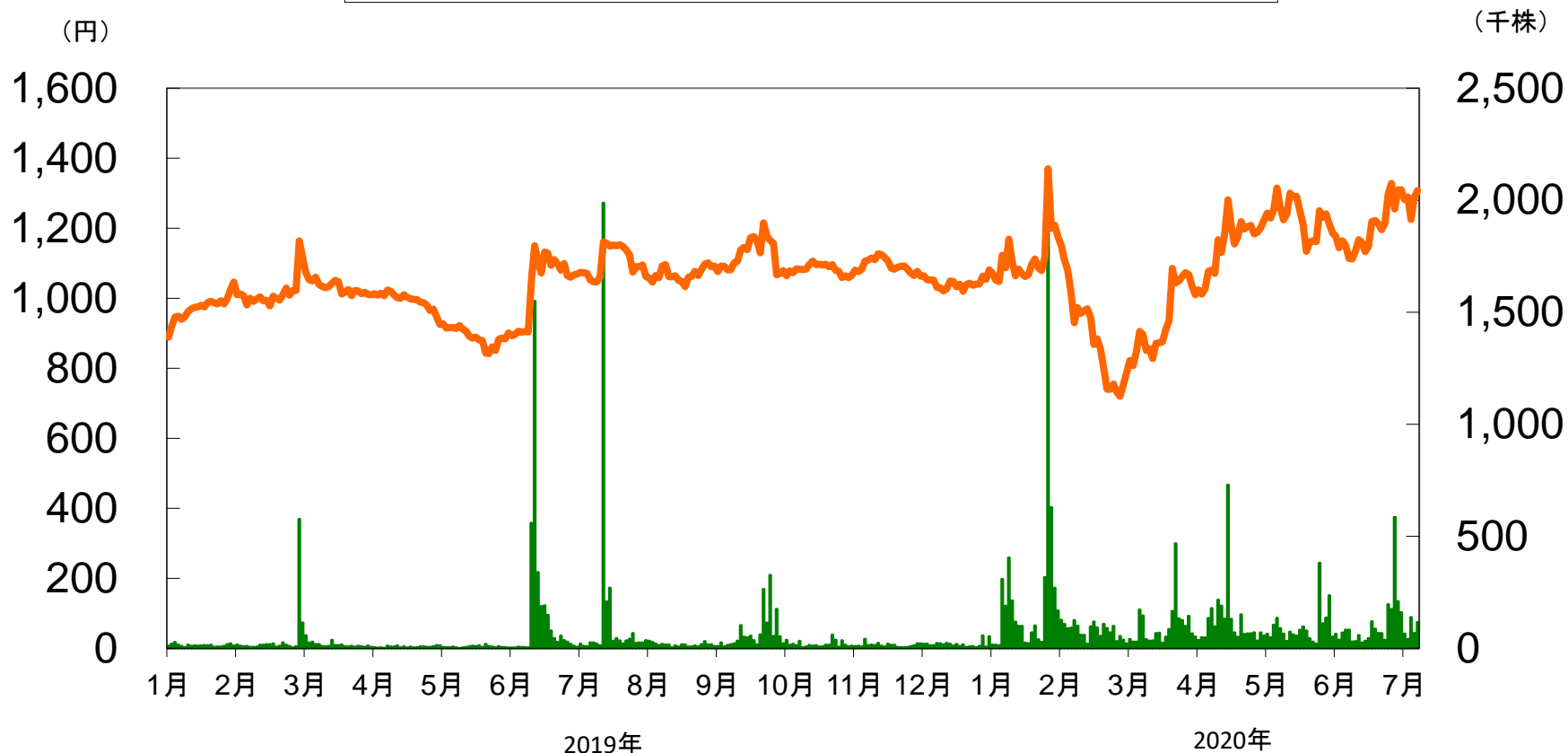
『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています



株価推移 (2019/1/4~2020/8/4)

■ コスモ・バイオ出来高 — コスモ・バイオ終値



前日 (8月4日) の終値 : 1,308円

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト

<http://www.cosmobio.co.jp/ir>